

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、2月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「システム科学・情報学から見たこれからのサービスサイエンス」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■現代の社会の基盤となっている重要な対象だと思う。学問としては正直言ってよく分からなかった。
(匿名希望)

■製品（モノ）とそれにかかわるサービス（コト）を1つのバリューチェーンとして捉えることは、大きなトレンドに対応した重要な視点であると思います。ソフト組込み製品にネットワークでつながるクラウドシステムの価値連鎖の要にも情報処理技術が存在します。情報処理技術が各種のプラットフォームを通して社会文化に大きな影響を与える技術に変質しつつあることを認識しました。
(匿名希望)

「2. SYSTEMS THINKING : A SERVICE SCIENCE PERSPECTIVE」

■非専門の内容について、英語で8ページは十分に暇がないと読めない。
(匿名希望)

■英語で読みたいと思えない。
(瀧本祥章)

「5. これからの都市型公共サービスを考える」

■内容自体はよいが、特集記事の前半で述べられているサービスサイエンスの基礎を応用している事例としては、私には読めなかった。すなわち、基礎では、サービスチェーンや仕組みビジネスなど、サービスの捉え方について説明しているのに対し、後半の事例は、サービスそのものを説明しているだけのように読めてしまった。ただし、現状の実践はそのような状態で、まだサービスサイエンスの知見が十分活かされているとは言えないという意図で編集されていたとしたら、その状況は感じられたので、よい記事だったと思う。
(匿名希望)

解説「歴史的計算機の動態保存から得られる知見」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■歴史的計算機の動態保存は取り組みとして面白く感じました。
(匿名希望)

解説「IT紛争の事例とそこから見える問題点・知見」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■自分自身は（幸運にも）IT紛争には縁がないように思えるが、他の日常業務で発生するさまざまな問題の原因に通じるものが見えてきて、とても参考になった。
(匿名希望)

■ユーザ側からとしても多くの教訓が読み取れる。
(匿名希望)

■自分の経験に照らし合わせることができ、とても参考になった。裁判になったことはないが、自分の経験では、ベンダのプロジェクト管理力不足により要求通りの物ができなかったり、瑕疵への対応について、それが無償の不具合修正なのか有償の機能改善なのかでもめたりする場面もあった。最近では、システムが完成したら「維持フェーズ」を設け、開発したベンダにそのままシステム運用をお任せし、日々の監視やユーザの問合せ、不具合の修正、小改善をまとめて実施できるようなベンダチームを構成して対応していただいている。今では、日々ベンダのレベルや意識向上につながり、こちらもある程度ベンダからリクエストを受けやすいパートナーシップを築けている。その上で、次期開発案件が出たとき、「維持フェーズ」で鍛えられたベンダと紛争が起らないよう、お互いをできるだけ尊重しながら開発ができていますので、幸いなことだと、この記事を読みながら感じた。
(匿名希望)

■裁判所での日常的なIT紛争については具体的な内容を知らなかったもので、面白く読ませていただきました。
(匿名希望)

■大変興味深く読みました。ユーザ側とベンダ側がお互いにどのようなことに気をつけながらソフトウェア開発やシステム開発をしていけばよいかがよく分かりました。
(匿名希望)

■「バグがあっても、オペレータに対して、その対処を十分に説明し理解が得られれば、システムは完成していると見なすことがある」など、開発者の考え方と違った判断を、裁判所が行っていることが分かり、興味深く読めた。(匿名希望)

■裁判所も非専門家なのでユーザ寄りになるだろう。ベンダの責任を重くするとコストが増え、ユーザが受け入れるか問題。アメリカと比較して、日本のユーザの不勉強やお任せ体質も問題。(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■今月号の特集は、記事の表題の数字の脇に、「応用」「基礎」「専門」「一般」の分類がはっきりと分かるように表示されていたため、私は初めて、以前から特集に限らずすべての記事で、そのような分類がされていることに気づきました。目次のところに「記号の説明」として載っているのですが、これだけだと気づかない人も多いと思うので、すべての記事に対してそのような分類をしている旨を、「記号の説

明」の下に記載してあると良いと思いました。

(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■今後取り上げてほしいテーマ：開発環境を開発する環境をさらに開発する技術の連鎖や構造の動向など。(匿名希望)



【本欄担当 田坂和之, 木村功作/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

情報処理学会 会誌編集部門

E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375

<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IPJS カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「ユビキタスコンピューティングシステム (IV)」 特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-F.html	4月25日(金)		
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-K.html	5月6日(火)		
	「プライベートフレンドリーシステム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0601s.html	5月7日(水)		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-D.html	5月8日(木)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-H.html	5月12日(月)		
	論文誌「仮想化時代の情報セキュリティと運用技術」 特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-N.html	6月16日(月)		
	論文誌「娯楽の離散数理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-L.html	7月31日(木)		
	論文誌「新しい社会を創る情報システム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-M.html	8月11日(月)		
5月14日(水)～ 5月15日(木)	第7回デジタルコンテンツクリエーション・ 第64回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dcc7eip64.html	3月18日(火)	当日のみ	情報セキュリティ 大学院大学
5月14日(水)～ 5月15日(木)	第202回計算機アーキテクチャ・第129回システムソフトウェアと オペレーティング・システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc202os129.html	4月8日(火)	当日のみ	沖縄船員会館
5月15日(木)～ 5月16日(金)	第159回マルチメディア通信と分散処理・ 第71回モバイルコンピューティングとユビキタス 通信合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps159mbl71.html	3月19日(水)	当日のみ	健康文化村 カルチャーリゾート フェストーネ
5月15日(木)～ 5月16日(金)	第192回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim192.html	3月20日(木)	当日のみ	近畿大学
5月15日(木)～ 5月16日(金)	第92回グループウェアとネットワークサービス・ 第9回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn92spt9.html	3月24日(月)	当日のみ	早稲田大学 西早稲田キャンパス
5月16日(金)	中国支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2014.html			未定
5月16日(金)～ 5月17日(土)	第13回教育学習支援情報システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle13.html	3月28日(金)	当日のみ	京都大学術情報 メディアセンター
5月19日(月)	東海支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2014.html			ルブラ王山
5月19日(月)	東海支部主催講演会「シリコンバレー最新ITトレンド ～Hitachi Solutions Americaの活動内容ご紹介～」 http://www.ipsj-tokai.jp/			ホテルルブラ王山 (名古屋市)
5月19日(月)～ 5月20日(火)	第184回ソフトウェア工学・ 第33回組込みシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se184emb33.html	3月27日(木)	当日のみ	日立製作所
5月22日(木)～ 5月23日(金)	第65回コンピュータセキュリティ・ 第25回インターネットと運用技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec65iot25.html	3月20日(木)	当日のみ	ホルトホール大分
5月22日(木)～ 5月23日(金)	第10回コンシューマ・デバイス&システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cds10.html	3月24日(月)	当日のみ	北海道大学
5月22日(木)～ 5月23日(金)	第216回自然言語処理・第101回音声言語情報処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl216slp101.html	3月24日(月)	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
5月22日(木)～ 5月23日(金)	第158回ヒューマンコンピュータインタラクション研究会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci158.html	3月28日(金)	当日のみ	津田塾大学 小平キャンパス
5月24日(土)～ 5月25日(日)	第103回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus103.html	3月12日(水)	当日のみ	日本大学 百周年記念館
5月26日(月)～ 5月27日(火)	第144回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc144.html	3月24日(月)	当日のみ	海洋研究開発機構 横浜研究所
5月28日(水)～ 5月29日(木)	第166回システムとLSIの設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm166.html	3月14日(金)	当日のみ	北九州国際会議場
5月29日(木)～ 5月30日(金)	第42回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi42.html	4月7日(月)	当日のみ	富山国際会議場
5月30日(金)	北陸支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2014.html			金沢市内
5月31日(土)	第102回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch102.html	3月24日(月)	当日のみ	桜美林大学 町田キャンパス
6月6日(金)	四国支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2014.html		6月6日(金)	香川大学
6月7日(土)	第125回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce125.html	4月17日(木)	当日のみ	函館(予定)

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
6月11日(水)	東北支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2014.html			東北大学
6月19日(木)～ 6月20日(金)	第99回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro99.html	4月18日(金)	当日のみ	旭川市民文化会館
6月25日(水)～ 6月27日(金)	第98回数理モデル化と問題解決・ 第38回バイオ情報学合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps98bio38.html	4月30日(水)	当日のみ	沖縄科学技術 大学院大学
7月9日(水)～ 7月11日(金)	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2014) シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dicomo2014.html	3月3日(月)		ホテル泉慶 (新潟県新発田市)
8月28日(木)～ 8月29日(金)	DAシンポジウム2014—システム設計技術とLSI設計技術— http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2014.html	5月23日(金)		下呂温泉 水明館
9月3日(水)～ 9月5日(金)	FIT2014 第13回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/index.html	4月16日(水): 査読付き 5月22日(木): 一般		筑波大学 筑波キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 3月26日 2014年度役員改選投票の結果について
- 3月15日 人材募集情報 (Vol.55 No.4)
- 3月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.55 No.4)
- 3月13日 論文誌「仮想化時代の情報セキュリティと運用技術」特集 論文募集
- 3月05日 第76回全国大会アプリをご用意しました
- 3月04日 [プレスリリース] 2013年度情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館認定式
- 2月28日 「新・情報セキュリティ人材育成プログラム」(案)に対する意見
- 2月26日 論文誌「娯楽の離散数理」特集 論文募集

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料: 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000 円（税込 21,600 円）
賛助会員（企業） 税抜 30,000 円（税込 32,400 円）
賛助会員以外の企業 税抜 50,000 円（税込 54,000 円）
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000 円（税込 4,320 円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■ (独)情報通信研究機構

募集人員 パーマネント研究職員 十数名
募集テーマ (1)ネットワーク基盤技術、(2)ユニバーサルコミュニケーション基盤技術、(3)未来ICT基盤技術、(4)電磁波センシング基盤技術、(5)その他情報通信に関するイノベティブな研究
応募資格 応募資格の詳細は、機構 Web ページをご覧ください
着任時期 2015年4月1日（原則、応相談）
提出書類 (1)訪問票（当機構指定様式^{*}）、(2)研究経歴書（要約を含む）、(3)論文リスト（誌上発表および口頭発表別）、(4)主要な研究業績（主な著書あるいは論文等3点程度、抜き刷り・コピー可）、(5)研究計画書
 *訪問票の様式は機構 Web ページからダウンロードしてください。そのほかは様式自由です
応募締切 2014年5月7日 17:00（必着）
送付先/照会先 〒184-8795 東京都小金井市貫井北町4-2-1 独立行政法人情報通信研究機構総務部人事室人事グループ 採用担当
 「平成27年4月1日採用パーマネント研究職員公募応募書類」と必ず朱書し郵送
 E-mail: jinjig@ml.nict.go.jp Tel(042)327-7304 Fax(042)327-7590
その他 本公募に関する詳細は、必ず機構 Web ページ (<http://www.nict.go.jp/employment/permanent/2014perm-kenkyu.html>) をご確認ください

■ 千葉大学大学院融合科学研究科

募集人員 助教 1名（下記の専門分野どちらか1名）（任期：なし）
所属 情報科学専攻（知能情報コース）
専門分野 ・情報数理（情報理論、符号理論、量子情報、応用数理など）
 ・音声・音響・自然言語処理（音声/話者認識、福祉情報分野への応用など）
担当科目 情報処理、物理・数学演習、情報画像実験（工学部情報画像学科）等の基礎・専門科目、全学向けの一般教養科目、および大学院融合科学研究科の科目など
応募資格 博士号取得者または着任までに取得見込みの方。上記分野の教育研究に熱意と十分な能力を有し、日本語で授業ができること
着任時期 決定後、できるだけ早い時期
提出書類 (1)履歴書（連絡先とE-mailアドレスを明記）、(2)業績リスト（著書、学術論文（査読制度のあるもの）、国際会議論文（査読制度のあるもの）、その他の国際会議論文、国内学会・研究会・シンポジウム発表、解説、特許、招待講演等に区分）、このリストには、論文名、全著者名、雑誌名、巻、最初と最後のページ、発表年が記入されていること。また、その他、参考となる業績、研究助成採択歴（代表・分担などの役割も記載）があれば記載すること、(3)主要論文別刷（3編以内、コピー可）、(4)これまでの教育研究概要と専門分野を明記し、採用された場合の教育および研究の抱負について、全体で2000字程度にまとめたもの。上記専門分野をどちらか1つまたは複数の場合は順番を付けること、(5)推薦者お1人からの署名入り推薦状、または応募者について意見を聞くことができる方2名の氏名と連絡先
応募締切 2014年5月30日（必着）
送付先/照会先 〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学大学院融合科学研究科情報科学専攻知能情報コース
 教授 黒岩眞吾 E-mail: kuroiwa@faculty.chiba-u.jp Tel/Fax(043)290-3256
 「教員公募」と朱書し簡易書留 *応募書類は原則返却いたしません
その他 千葉大学では、平成18年度に「両立支援企画室」を開設し、平成19年度には、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に、「支援循環型体制による女性研究者育成モデル」が採択され、女性研究者支援と両立支援を並行して積極的に推進しています

■明星大学情報学部情報学科

- 募集人員 教授、准教授または助教 1名(助教は任期付き)
- 専門分野 コンピュータシステム、コンピュータアーキテクチャ、論理回路
- 担当科目 論理回路・コンピュータアーキテクチャ・情報学実験 など
- 応募資格 教育に関しては、学部学生の基礎から専門までの幅広い授業および学生指導に熱意を持ってあたり、研究に関しては上記専門分野において高い研究能力を有すること。博士の学位を持ち、大学院における研究指導ができること
- 着任時期 2015年4月1日
- 提出書類 個人調書票および研究業績一覧表(本学指定のもの)1部、主要著書・論文(3点、コピー可)、担当授業予定科目の中から1科目についての講義計画1部、本学での教育および研究に対する抱負(1200字程度)、可能であれば推薦書および参考意見を聞くことができる方の氏名、所属、連絡先
- ※詳細はWebページ(<http://www.meisei-u.ac.jp/recruit/index.html>)をご覧ください
- 応募締切 2014年5月30日(必着)
- 送付先 〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1 明星大学情報学部 学部長 蓮池和夫
「情報学部教員応募書類在中」と朱書き宅配便または書留 *応募書類は、著書以外返却いたしません
- 照会先 情報学部支援室 E-mail: is-info@gad.meisei-u.ac.jp Tel(042)591-6239 Fax(042)591-5452
- その他 応募書類は、選考の進行状況に応じて追加していただく場合があります
詳細な応募要項はWebページ(<http://www.meisei-u.ac.jp/recruit/index.html>)を参照ください
本学指定の用紙は、上記よりダウンロードの上ご使用ください
「JRECIN研究者人材データベース」(<http://jrecin.jst.go.jp/>)にも掲載しております

■九州大学大学院システム情報科学研究院情報学部門

- 募集人員 助教 1名(任期なし)
- 所属 知能科学講座
- 専門分野 次にあげる分野のいずれかを専門にしていることが望ましい
データマイニング、機械学習、パターン認識、人工知能
- 応募資格 着任時に博士の学位を有し、上記分野の研究および教育に熱意を有する方
- 着任時期 採用決定後できる限り早い時期
- 提出書類 (1)履歴書(学歴、職歴、研究歴および電話・E-mailによる連絡先)、(2)研究業績リスト((ア)著書、論文誌掲載論文、国際会議論文、解説・総説、講演発表、特許等の項目別リスト、(イ)教育、招待講演、受賞、競争的資金の獲得、社会貢献等特記する事項)、(3)主要論文コピー各2部(5編以内)、(4)研究、教育に関する抱負(2,000字程度)、(5)本人に関する意見を伺える方の氏名、所属、連絡先2名
- 応募締切 2014年6月30日(必着)
- 送付先 〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744 九州大学大学院システム情報科学研究院情報学部門 (平成26年度)主任教授 富浦洋一
「教員応募書類在中(助教)」と朱書き簡易書留
- 照会先 システム情報科学研究院情報学部門 教授 鈴木英之進 E-mail: suzuki@inf.kyushu-u.ac.jp
Webページ: <http://www.i.kyushu-u.ac.jp/~suzuki/suzuki-j.html>
- その他 Webページ: <http://portal.isee.kyushu-u.ac.jp/>
所在地: 〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744
(1)九州大学では、男女共同参画社会基本法に則り、教員の選考を行います
(2)面接を行う場合があります
(3)応募書類は原則として返却しません
(4)応募書類は本選考だけに使用し、他の目的には使用しません



FIT2014 講演募集案内 第13回情報科学技術フォーラム

Web サイト <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/>

【会期】2014年9月3日(水)～5日(金)
【会場】筑波大学 筑波キャンパス(つくば市)

電子情報通信学会情報・システムソサイエティ(ISS)並びにヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)と情報処理学会(IPSJ)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT:Forum on Information Technology)」を開催しており、2014年9月には第13回目を筑波大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れを汲むものですが、従来の大会の形式に捉われずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

論文誌への道!

「FIT 査読付き論文」で優秀論文を論文誌へ推薦する制度

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度がございます。「FIT 査読付き論文」の申込みと合わせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2014年6月20日(金)に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

【FIT 論文表彰制度】

FIT には、**船井ベストペーパー賞**、**FIT 論文賞**、**FIT ヤングリサーチャー賞**からなる論文表彰制度がありますが、FIT2013よりこれらに加えて **FIT 奨励賞** を新たに創設致しました。

皆様、是非ともチャレンジして下さい。

船井ベストペーパー賞	FIT 査読付き論文で採択された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の 5%を上限として優秀な論文を推薦し最終的に 10 件程度の論文を選定。選定された論文の中から受賞論文 3 件 を選定。受賞論文には、表彰式(FIT2014 会期中)にて 賞金 20 万円 を船井情報科学振興財団より贈呈。
FIT 論文賞	上記船井ベストペーパー賞と同様の選定手続きを経て選定された論文 10 件程度の中から受賞論文 7 件程度 を選定。受賞論文には、表彰式(FIT2014 会期中)にて 賞金 5 万円 を FIT 運営委員会より贈呈。
FIT ヤングリサーチャー賞	発表件数の 1.5%を上限として、2014年12月31日現在で 33 歳未満の講演者(査読付き論文及び一般論文)を対象に優れた発表を選定。受賞者には 賞金 3 万円 を次回の FIT2015 の表彰式にて FIT 運営委員会より贈呈。
FIT 奨励賞	一般発表のセッション毎に座長の裁量で優秀な発表を 1 件その場で選定(該当なしもあり)。受賞者には、FIT2014 終了後に賞状を FIT 運営委員会より贈呈。

※いずれの賞も、電子情報通信学会または情報処理学会の会員であること

【申込みの方法・注意事項】

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2014Web サイトよりお願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。

なお、会場数、会期日数などの制約によりプログラム編成上、講演分野の変更を行うこともございますのであらかじめ御了承下さい。

【講演募集内容】

最近行った研究及び調査の報告、または成果を上げた新しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限ります。

論文の種類には、FIT 査読付き論文と FIT 一般論文があります。

FIT 査読付き論文 (4～8 ページ程度)

FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) (6～8 ページ程度)

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 8 ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。

【注 1】 査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います(一般論文での発表となります)。

【注 2】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野(研究会)については、Web ページの募集分野で最新情報を御確認下さい。

【注 3】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野(研究会)の選択は申込者様御自身の責任において適切に選択して下さい。

【注 4】 申込締切後、研究会での査読を行う際に、該当研究会で明らかに分野違い(研究会違い)と判断された論文については、査読プロセスには乗らずにクイックリジェクト(即不採録)され FIT 一般論文扱いとなりますのであらかじめ御了承下さい。

【注 5】 FIT 査読付き論文でページ数が 4 ページ以上ない場合はクイックリジェクト(即不採録)され FIT 一般論文扱いとなります。

【注 6】 FIT 査読付き論文(論文誌推薦希望)でページ数が 6 ページ以上ない場合は「論文誌推薦はしない」に即決し、FIT 査読付き論文としてのみの査読になります。

【注 7】 御自身の論文内容と一致した分野(査読受け入れ研究会)がない場合には、申し訳ございませんが FIT 査読付き論文として受け入れることができませんので、FIT 一般論文でのお申込みをお願い致します。

■ 申込主要日程

登録申込/投稿受付開始: 2014年3月 5日(水)

登録申込締切/査読用原稿の投稿締切

: 2014年4月16日(水)

査読の採否結果通知: 2014年6月20日(金)

論文誌への推薦可否結果通知(推薦希望者のみ)

: 2014年6月20日(金)

最終原稿投稿締切: 2014年6月30日(月)

FIT 一般論文 (2～8 ページ程度)

情報技術に関する研究成果や調査報告等、広く募集致します。論文ページ数は 2～8 ページ程度になります。

また、査読を行わない分、登録申込・投稿受付開始並びに投稿締切が、「査読付き論文」の申込に比べて約 2 か月遅くなります。

■ 申込主要日程

登録申込/投稿受付開始: 2014年4月23日(水)

登録申込締切: 2014年5月22日(木)

最終原稿投稿締切: 2014年6月30日(月)

【募集分野】

以下の 15 の分野で論文の募集を行います。

なお論文募集、FIT 査読付き論文の査読などは、電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)と情報処理学会の研究会で進めます。各分野に対応する研究会は以下ようになります。

※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、◇は電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ、☆は情報処理学会を示します。

FIT 査読付き論文の募集は行わず FIT 一般論文のみの募集となる研究会がございますので御注意下さい。

■ は FIT 査読付き論文も受け付ける研究会(研究分野)

- A:モデル・アルゴリズム・プログラミング
 - A-1 ☆アルゴリズム(AL)
 - A-2 ☆数理モデル化と問題解決(MPS)
 - A-3 ☆プログラミング(PRO)
 - A-4 ※コンピュータシミュレーション(COMP)
- B:ソフトウェア
 - B-1 ☆ソフトウェア工学(SE)
 - B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)
 - B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム(OS)
 - B-4 ☆デジタル・ドキュメント(DD)
 - B-5 ※ソフトウェアサイエンス(SS)
 - B-6 ※知能ソフトウェア工学(KBSE)
- C:ハードウェア・アーキテクチャ
 - C-1 ☆システムとLSIの設計技術(SLDM)
 - C-2 ☆計算機アーキテクチャ(ARC)
 - C-3 ☆組み込みシステム(EMB)
 - C-4 ※コンピュータシステム(CPSY)
 - C-5 ※ディペンダブルコンピューティング(DC)
 - C-6 ※リコンフィギャラブルシステム(RECONF)
 - C-7 ※再生可能集積システム(RIS)
- D:データベース
 - D-1 ☆データベースシステム(DBS)
 - D-2 ☆情報基礎とアクセス技術(IFAT)
 - D-3 ※データ工学(DE)
- E:自然言語・音声・音楽
 - E-1 ☆自然言語処理(NL)
 - E-2 ☆音声言語情報処理(SLP)
 - E-3 ☆音楽情報科学(MUS)
 - E-4 ※言語理解とコミュニケーション(NLC)
 - E-5 ※音声(SP)
- F:人工知能・ゲーム
 - F-1 ☆知能システム(ICS)
 - F-2 ☆ゲーム情報学(GI)
 - F-3 ※人工知能と知識処理(AI)
 - F-4 ※情報論的学習理論と機械学習(IBISML)
- G:生体情報科学
 - G-1 ☆バイオ情報学(BIO)
 - G-2 ※ニューロコンピューティング(NC)
 - G-3 ※MEとバイオサイバネティクス(MBE)
 - G-4 ※医用画像(MI)
- H:画像認識・メディア理解
 - H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)
 - H-2 ※パターン認識・メディア理解(PRMU)
- I:グラフィクス・画像
 - I-1 ☆グラフィクスとCAD(CG)
 - I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理(AVM)
 - I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング(EC)
 - I-4 ☆デジタルコンテンツクリエイション(DCC)
 - I-5 ※画像工学(IE)
- J:ヒューマンコミュニケーション&インタラクション
 - J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)
 - J-2 ※異文化コラボレーション(IC)
 - J-3 ※クラウドネットワークロボット(CNR)
 - J-4 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)
 - J-5 ◇ヒューマン情報処理(HIP)
 - J-6 ◇ヒューマンプロンプト(HPB)
- K:教育工学・福祉工学・マルチメディア応用
 - K-1 ※教育工学(ET)
 - K-2 ※サイバーワールド(CW)
 - K-3 ※マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント(EMM)
 - K-4 ◇マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)
 - K-5 ◇福祉情報工学(WIT)
- L:ネットワーク・セキュリティ
 - L-1 ☆インターネットと運用技術(IOT)
 - L-2 ☆コンピュータセキュリティ(CSEC)
 - L-3 ☆セキュリティ心理学とトラスト(SPT)
 - L-4 ※情報通信システムセキュリティ(ICSS)
- M: ユビキタス・モバイルコンピューティング
 - M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス(GN)
 - M-2 ☆ユビキタスコンピューティングシステム(UBI)
 - M-3 ☆モバイルコンピューティングとユビキタス通信(MBL)
 - M-4 ☆高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)
 - M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理(DPS)
- N:教育・人文科学
 - N-1 ☆コンピュータと教育(CE)
 - N-2 ☆人文科学とコンピュータ(CH)

- N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤(EIP)
- N-4 ☆教育学習支援情報システム(CLE)

- O:情報システム
 - O-1 ☆情報システムと社会環境(IS)
 - O-2 ※ライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)
 - O-3 ※ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)
 - O-4 ※サービスコンピューティング(SC)
 - O-5 ※減災情報システム(DRIS)

〔使用言語〕

日本語または英語

〔論文ページ数・講演時間〕

FIT 一般論文ページ数: 2~8 ページ程度
 FIT 査読付き論文ページ数: 4~8 ページ程度
 FIT 査読付き論文(論文誌推薦希望): 6~8 ページ程度
 ※3 ページ目以降から 1 ページ当り 4,000 円のページチャージ
 講演時間: 1件 20 分(発表時間 15 分、質疑時間 5 分)

〔講演使用機器〕

FIT 査読付き論文、FIT 一般論文とも PC プロジェクターとします。PC は各自持参をお願いします。

〔講演者の資格〕

講演者の資格は以下のとおりです。

会 員	電子情報通信学会、情報処理学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(IEEK、APSIPA、ECIT、IEEE/ComSoc、KICS、VDE/ITG、KIEES、CIC、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS、KIISE)または情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI)の個人会員に限ります。
非会員	上記の学会会員以外の方。

〔講演参加費(税込)〕

講演参加費は、基本原稿掲載料 2 ページ、講演料、聴講料、論文集 DVD-ROM、プログラム、参加章の代金を含みます。なお、DVD-ROM は FIT 開催前に講演者の方に送付しますが、プログラム、参加章は会場でのお引き渡しとなります。

また、登録申込締切り後、講演の取消しをされても講演参加費等お申込内容に基づく費用につきましてはお支払いを頂くこととなりますので御注意下さい。

正会員	10,000 円
学生会員	6,000 円
一般非会員(社会人)	20,000 円
学生非会員	12,000 円

〔エキストラページ費用(税込)〕

エキストラページ(3 ページ目以降)を利用された場合には、講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。

エキストラページ費: 1 ページ当り 4,000 円

〔別刷代(FIT 査読付き論文の採択者のみ)(税込)〕

FIT 査読付き論文に採択された方には論文の別刷(100部)を御購入頂きます。別刷代は、エキストラページの有無に関わらず 20,000 円となります。

〔講演者予稿分冊頒布〕

講演者には、御自身の論文が掲載されている講演論文集を 1 部に限り 8,000 円で講演申込時に同時受付致します。御希望の方は講演申込書の「講演論文集を希望する」にチェックをお願いします。

なお、講演論文集の一般販売は、個人購入の場合 1 部 12,000 円、法人購入の場合 15,000 円となります。

〔最新情報確認のお願い〕

FIT2014 に関する最新情報は、FIT2014Web サイトへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集/ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページ または 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	50,000 円 (税込 54,000 円)
			1/2 ページ	30,000 円 (税込 32,400 円)
			1/4 ページ	20,000 円 (税込 21,600 円)
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	20,000 円 (税込 21,600 円)
			賛助会員（企業）	30,000 円 (税込 32,400 円)
			賛助会員以外の企業	50,000 円 (税込 54,000 円)
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円 (税込 4,320 円) で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
 * A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
 [募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
 * なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

CONTENTS

Preface

Trial-and-error bears New Entertainment
Uruma, UrumaDelvi

**On becoming the Fifth Editor in Chief
Now, the "era" has Come!**
Masahiko TSUKAMOTO (Kobe Univ.)

Special Features

Future Library

- 444 **0. Foreword**
Makoto OKAMOTO (Academic Resource Guide, Inc.)
- 446 **1. CALIL. JP - The Approach Which Changes
Library Data into Open-data -**
Ryuuji YOSHIMOTO (CALIL Inc.)
- 452 **2. Librize – How to Build User Friendly Library
Service**
Shinsaku CHIKURA (Librize LLC)
- 458 **3. The Good Practices of Archive Systems for
Cultural Data and How They are Opening There
Data : The Future Vision of Cultural Institute**
Iwao KOBAYASHI (Scholex / Linked Open Data Initiative)
- 464 **4. A Paradigm Shift in Academic Libraries
- System Design at Kyushu -**
Shin KATAOKA and Tomoko KAGAWA (Kyushu Univ. Library)
- 470 **5. Aozora Bunko (Open Air Library) as a Vanguard
of Crowdsourcing and Virtual Volunteering**
Yu OKUBO (A Member of Aozora Bunko Volunteer Team)
- 475 **6. MOOC and Innovation in Higher Education**
Ryuichi KANARI (The ASAHI Shimbun)

Special Article

440 **The Structure of Public Policy Issues of Bitcoin :
A Discussion of Decentralized Virtual Currency**
Hitoshi OKADA (National Institute of Informatics)

Articles

482 **Formal Verification using Proof-assistants – Survey
of Recent Applications and Introduction to Coq -**
Reynald AFFELDT (National Institute of Advanced Industrial
Science and Technology (AIST))

Senior Column : Messages on Favorite IT

494 **Let' Go Out !**
Tadanori MIZUNO (Aichi Institute of Technology)

"Peta-gogy" for Future

- 495 **What are Learning Analytics ?**
Osamu YAMAKAWA (Center for Arts and Sciences / Fukui
Prefectural Univ.)
- 496 **Side Effects of the Internet and ICT Literacy
Education**
Keiichi ABE (Shizuoka Univ.)
- 500 **Education for Information Technologies and
Statistics in Agricultural Genomic Sciences**
Kazuo ISHII (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)

492 **Report from Student Members**
504 **Biblio Talk**



読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.55 No.4 (Apr. 2014)

【特集：Multiagent-based Societal Systems】

- Editor's Message to Special Issue on Multiagent-based Societal Systems Takayuki Ito
- Computational Game Theory for Security and Sustainability Albert Xin Jiang 他
- The Reconsideration of the Altruistic Decision Based on the Notion of the Bounded Rationality Tetsushi Ohdaira
- Automated Mediation Protocols based on Monotonic Tree Representations Katsuhide Fujita
- A Division Strategy for Achieving Efficient Crowdsourcing Contest Huan Jiang 他
- Trust-based Adaptive Routing for Smart Grid Systems William Liu 他
- Intelligent Resource Scheduling in Green Smart Grid Considering Uncertainties Shantanu Chakraborty 他
- Evaluation of Traffic Management Strategies with Anticipatory Stigmergy Ryo Kanamori 他
- Multiagent-based Sustainable Bus Route Optimization in Disaster Hiroto Kitagawa 他
- Community Discovery for Knowledge Collaborations in Collective intelligence Systems Quan Bai 他
- On How Smart Cities Can Improve Social Utility of Their Citizens' Commutes Marat Zhanikeev
- Experiment on Activity-Travel Survey System based on Scheduling System Satoshi Takahira 他
- Statement-based Cost Estimate for Co-utilization of Service Facilities Hidenori Kawamura 他
- Music Recommender Adapting Implicit Context Using 'renso' Relation among Linked Data Main Wang 他
- Learning of Task Allocation Method Based on Reorganization of Agent Networks in Known and Unknown Environments Kazuki Urakawa 他
- Encouragement of Right Social Norm by Inverse Reinforcement Learning Sachiyo Arai 他
- Multiagent Decision Making on Transportation Networks Ernesto Queiros Nunes 他
- Agent-Based Evacuation Behavior Simulations and Evacuation Guidance Masaru Okaya 他

【特集：インタラクシヨンの理解および基盤・応用技術】

- 特集「インタラクシヨンの理解および基盤・応用技術」の編集にあたって 寺田 努
- dePENd: ボールペンの強磁性を利用した手描き補助システム 山岡潤一 他
- CADo: 身近な花材を利用した生け花支援システム 横窪安奈 他

- グループ発想支援システムにおける拡張現実感技術の適用とその効果 三浦元喜 他
- EducaTableware: Sound Emitting Tableware for Encouraging Dietary Education Azusa Kadomura 他
- Ensuring Privacy during Pervasive Logging by a Passerby Mohsin Ali Memon 他
- インタラクティブな大型公共ディスプレイを安心して個人利用するための周辺状況提示方法の検討 飯塚重善 他
- マルチタッチディスプレイを用いた複数人によるプランニングができるデジタルサイネージシステムの提案 遠藤隆介 他
- テーブルトップインタフェースを用いた対面食卓コミュニケーションシステムの提案と適用 伊藤淳子 他
- 機械翻訳サービスと編集サービスの相互連携における翻訳品質と編集者適応 山口卓郎 他
- 塩分を用いない塩味味覚感度制御—陰極刺激の提示と停止による飲食物の味質変化における評価— 中村裕美 他
- 力覚提示可能な 3D ディスプレイシステムの開発 木村真治 他
- Headphone Taps: 通常のヘッドホンへのタップ入力 真鍋宏幸 他
- 記憶の石: マルチタッチを利用したデバイス間情報移動 池松 香 他
- キーを指の設置位置とその周囲に配置するソフトウェアキーボード 久野祐輝 他
- ElasticConnections: 3D 空間における複雑な仮想物体の分解・観察手法に関する研究 大槻麻衣 他

【一般論文】

- 粒子の自律性と相互作用に基づくセルオートマトン PSO の提案 古田 均 他
- SSD をディスクキャッシュとして利用するディスクシステムの省電力化手法 坂本龍一 他
- 無線センサネットワークにおける消費電力削減を目的とした受信端末主導型 MAC プロトコルの導入効果* 伊達仁美 他
- AirTarget: 光学シースルー方式 HMD とマーカレス画像認識による高可搬性実世界志向インターフェース* 入江英嗣 他
- 三段論法的パターンに着目した解釈容易な仮説の生成規則獲得と順位付け 関 和広 他
- 述語項関係に基づく How 型質問応答の高度化 佐々木智 他
- Data-Driven Speech Animation Synthesis Focusing on Realistic Inside of the Mouth* Masahide Kawai 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (Apr. 2014)

【論文誌 コンシューマ・デバイス&システム Vol.4 No.1】

- ソーシャル観光マップ—ソーシャルデータからの観光スポット抽出— 荒川 豊 他
- 距離画像による空間情報マッチングに基づくマーカレス AR システムの設計と実装 山川健司 他

- 動作学習のための遅延同期ビデオフィードバックシステム 三上 弾 他

情報処理学会の会員になりませんか!

www.ipsj.or.jp

新規会員
募集中

一般社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として健全な情報化社会の実現に向けて、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

■活動の概要

- 機関誌（「情報処理」「情報処理学会論文誌」）の発行
- 各種行事の開催（研究発表会、全国大会、FIT（情報科学技術フォーラム）、シンポジウム、連続セミナー他）
- 情報処理教育活動
- 国際交流
- 標準化活動
- 出版活動

■会員になるには

入会金（正会員のみ）と会費をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。理事会で承認後会員証（賛助会員除く）をお送りします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

個人会員

正会員：当学会の中心的会員で、IT 分野に携わっているかまたは興味のある個人
学生会員：学校に在学中の個人
名誉会員：当学会の活動において特別な功績のあった個人

賛助会員

当学会の活動をサポートする法人

■ご入会いただくと、こんな良いことがあります。



2013 年

ホット
トピックス

1 最新技術を紹介する会誌「情報処理」が毎月お手元に届きます。

特集：オープンデータ活用／プライバシーを守った IT サービスの提供技術／ユーザスタディのフロンティア／ソフトウェア工学の共通問題／現役プロ棋士に勝ち越したコンピュータ将棋～第 2 回将棋電王戦速報～／スマートフォンプログラミング／生活をデザインする：生活機能構成学のアプローチ／ノーマリーオフコンピューティング／ネットワークロボット、その人と街とのかかわり／実世界に広がる装着型センサを用いた行動センシングとその応用／DoS 攻撃／新年度企画：研究会紹介／モビリティの進化、他

2 実務の現場で IT を実践する皆様に向けた論文誌「デジタルプラクティス」(年 4 回発行)が電子版でご覧いただけます。

特集：経営に貢献するコンタクトセンタ（1 月刊行）／利用されるクラウドコンピューティング（10 月刊行）／ヘルスケアの現場を支える IT（7 月刊行）／要求工学で情報システム開発を変える（4 月刊行）

3 電子図書館（情報学広場）で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。

4 「連続セミナー」に会員価格(7,000 円お得)で参加できます。

時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数回にわたり開催しています。2013 年度は「ビッグデータの深化と真価」をテーマに、6 回の開催がありました。

5 ホットトピックスに対応する「シンポジウム・セミナー」(5,000 円以上お得)や「研究会」に会員価格で参加できます。

インターネット、E ビジネス、セキュリティ、ユビキタス・モバイル・情報家電・組込み、ディベンダブルシステム、低消費電力化、リコンフィギャラブルプロセッサ、グリッド、UML・オブジェクト指向・アスペクト指向、エージェント、セマンティックウェブ・XML・データマイニング、マルチメディア、エンタテインメント・バーチャルリアリティ、e-ラーニング、バイオインフォマティクス、バイオメトリクス、量子コンピューティング・DNA コンピューティング、進化的計算・複雑系、ITS、金融工学・経済物理

6 出版図書が会員割引で購入できます。

IT Text シリーズ、英文図書 Advanced Information Technology シリーズ、日本のコンピュータ史等

他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。

お問い合わせは、
一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

日本の コンピュータ史

情報処理学会歴史特別委員会 編
A5判・388頁 定価8,208円(本体7,600円+税)

The History of Japanese Computers

1980年から2000年の20年間の日本のコンピュータの歴史を情報処理学会歴史特別委員会で検証してまとめたものです。この時代は、パソコンとインターネットの時代へとITが大きく変貌と遂げた激変の時代であり、その最前線で関わった人たちによって執筆されています。

1960年以前の歴史をまとめた「日本のコンピュータの歴史」と1960年から1980年をまとめた「日本のコンピュータ発達史」をCD-ROMに収録して添付しています。



【編集委員会】

委員長：笈田 弘(前沖電気工業株式会社)
幹事：松永俊雄(東京工科大学名誉教授)
委員：旭 寛治(前株式会社日立製作所)／鶴飼直哉(前富士通株式会社)／浦城恒雄(東京工科大学名誉教授)／坂井修一(東京大学)／前島正裕(国立科学博物館)／山田昭彦(コンピュータシステム&メディア研究所)／和田英一(東京大学名誉教授)

【目次】

- 第1章 日本のコンピュータ史概論(1980年まで)
 - 第2章 日本のコンピュータ史概論(1980年から2000年まで)
 - 第3章 日本のコンピュータの発展 汎用大型コンピュータ(メインフレーム)／オフィスコンピュータ／パーソナルコンピュータ／スーパーコンピュータ／ワークステーション・サーバ／日本語ワードプロセッサ(ワードプロセッサ)／周辺機器／専用端末装置システム／ソフトウェア／文字コード／大学など研究機関での活動
 - 第4章 ネットワーク社会への展開 ネットワーク環境の変遷／OSIの始まりと終焉／インターネット／モバイルコミュニケーション／電子商取引
 - 第5章 情報技術分野の主要な研究開発プロジェクト 概要／第五世代コンピュータ／科学技術用高速計算システム／リアルワールド・コンピューティング／TRONプロジェクト／DIPS
 - 第6章 その後の進展と今後の展望
- 年表・年譜

「日本のコンピュータ史」購入申込書

送付先 ■ 〒101-0062 千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 一般社団法人 情報処理学会出版担当
Tel: (03)3518-8371 (部門直通) Fax: (03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp

会員価格 ■ (送料・税込み) **7,387 円**

*学会間の相互協力により、情報処理学会、電気学会、照明学会、電子情報通信学会、映像情報メディア学会の5学会の個人・法人会員の方は、会員価格で購入できます。

記入欄

◎所属学会

学会名： _____ 会員 No.： _____

◎購入申込冊数

購入申込冊数 _____ 冊 合計金額 _____ 円

◎お支払い方法 下記の該当お支払い方法にチェック☑し、見積・納品・請求書の希望枚数をご記入ください。

○お支払い方法： 銀行 郵便振替 現金持参

○見積・納品・請求書(3枚綴り)： _____ 通 希望 請求書宛先： _____

◎送付先(※は必須事項)

ご氏名*：(漢字) _____ (カナ) _____

送付区分*： 自宅 勤務先

ご住所*： 〒 _____

会社/学校名： _____ 所属： _____

Tel*： _____ Fax： _____

E-mail*： _____

●通信欄 (要望事項等あればご記入ください)



新刊!!

ITText 数理最適化

久野誉人・繁野麻衣子・後藤順哉 共著
A5判/272頁/本体3,300円(税別)

ITText メディア学概論

山口治男 著
A5判/172頁/本体2,400円(税別)

ITText 一般教育シリーズ 情報とコンピュータ

河村一樹・和田 勉・山下和之・立田ルミ・岡田 正・佐々木整・山口和紀 共著
A5判/176頁/本体2,200円(税別)

ITText 一般教育シリーズ 情報と社会

駒谷昇一 編著
A5判/220頁/本体2,500円(税別)

ITText 一般教育シリーズ 情報システム基礎

神沼靖子 編著
A5判/228頁/本体2,500円(税別)

ITText 一般教育シリーズ 情報とコンピューティング

河村一樹 編著
A5判/218頁/本体2,500円(税別)

ITText コンパイラとバーチャルマシン

今城哲二・布広永示・岩澤京子・千葉雄司 共著
A5判/212頁/本体2,800円(税別)

ITText コンピュータグラフィックス

魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・向井信彦 共著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText コンピュータネットワーク

松下 温・重野 寛・屋代智之 共著
A5判/216頁/本体2,500円(税別)

ITText 音声認識システム

鹿野清宏・伊藤克亘・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著
A5判/216頁/CD-ROM付/本体3,500円(税別)

ITText エージェント工学

西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著
A5判/226頁/本体2,800円(税別)

ITText ヒューマンコンピュータインタラクション

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText オペレーティングシステム

野口健一郎 著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText データベース

速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明 共著
A5判/196頁/本体2,500円(税別)

ITText ソフトウェア工学演習

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著
A5判/228頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報リテラシー

海野 敏・田村恭久 共著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText 人工知能

本位田真一 監修 松本一教・宮原哲浩・永井保夫 共著
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText コンピュータアーキテクチャ

内田啓一郎・小柳 滋 共著
A5判/236頁/本体2,800円(税別)

ITText データマイニングの基礎

元田 浩・津本周作・山口高平・沼尾正行 共著
A5判/292頁/本体3,200円(税別)

ITText 自然言語処理

天野真家・石崎 俊・宇津呂武仁・成田真澄・福本淳一 共著
A5判/192頁/本体2,500円(税別)

ITText 応用Web技術

市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/210頁/本体2,500円(税別)

ITText 認知インタフェース

加藤 隆 著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText プログラム仕様記述論

荒木啓二郎・張 漢明 共著
A5判/210頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報と職業

駒谷昇一・辰巳丈夫・楠元範明 共著
A5判/232頁/本体2,500円(税別)

ITText アルゴリズム論

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

ITText ソフトウェア開発

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著
A5判/224頁/本体2,800円(税別)

ITText 基礎Web技術

松下 温 監修/市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText 知識マネジメント

大澤幸生 編著
A5判/232頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報セキュリティ

宮地充子・菊池浩明 編著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText 分散処理

谷口秀夫 編著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText Linux演習

前野謙二・落合 昭・生野莊一郎・塩澤秀和・高島俊徳 共著
A5判/224頁/本体2,500円(税別)

ITText インターネットプロトコル

阪田史郎 編著
A5判/272頁/本体2,800円(税別)

ITText 組込みシステム

阪田史郎 著 高田広章 編著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText システムLSI設計工学

藤田昌宏 編著
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

ITText Java基本プログラミング

今城哲二 編 布広永示・マッキン ケネスジェームス・大見嘉弘 共著
A5判/234頁/本体2,500円(税別)

ITText 人画像処理

越後富夫・若井儀雄・森島繁生・鷺見和彦・井岡幹博・八木康史 共著
A5判/258頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報理論

白木善尚 編 村松 純・若田賢一・有村光晴・渋谷智治 共著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText Java/UMLによるアプリケーション開発

布広永示・高橋英男 共著
A5判/208頁/本体2,600円(税別)

ITText Javaオブジェクト指向プログラミング

布広永示 編著
A5判/280頁/本体2,800円(税別)

ITText ユビキタスコンピューティング

松下 温・佐藤明雄・重野 寛・屋代智之 共著
A5判/222頁/本体2,800円(税別)

ITText HPCプログラミング

寒川 光・藤野清次・長嶋利夫・高橋大介 共著
A5判/246頁/本体2,800円(税別)

ITText 確率統計学

須子統太・鈴木 誠・浮田善文・小林 学・後藤正幸 共著
A5判/264頁/本体2,800円(税別)

ITText 離散数学

松原良太・大鷹彰昇・藤田慎也・小関健太・中上川友樹・佐久間雅・津垣正男 共著
A5判/256頁/本体2,800円(税別)

ITText 一般教育シリーズ 情報ネットワーク

岡田 正・駒谷昇一・西原清一・水野一徳 共著
A5判/160頁/本体2,300円(税別)

ITText 一般教育シリーズ 情報とネットワーク社会

駒谷昇一・山川 修・中西通雄・北上 始・佐々木整・湯瀬裕昭 共著
A5判/192頁/本体2,200円(税別)

お申し込みは



101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
TEL 03 (3233) 0641 FAX 03 (3293) 6224

<http://www.ohmsha.co.jp/>
本体価格(税別)は変更する場合があります。

「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内

？
 カタログ同封
 サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社/貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。
 通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、読者の開封率は格段に上がります。
 また、カタログ送付にかかるコストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能となります。

お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月15日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
 - ◆会社名、担当者、連絡先（住所、Tel、Fax、E-mail） ◆封入希望号
 - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
 - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
 - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください（PDF、Fax可）。
 - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の5日（土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日）です。日付指定にて必要枚数（20,000枚）を印刷し指定の納品先へお送りください。
 - ※納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
 - ※納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1通あたり
 約17.5円！

基本価格 350,000円
 (税込 378,000円)

対象：全会員 20,000通 配布
 (正会員/名誉会員/学生会員/賛助会員)

大学や
 共催事業は
 さらに割引も！

大学/研究所/賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学/研究所/賛助会員
 (基本価格の40% Off！) **210,000円**
 (税込 226,800円)

情報処理学会主催・共催事業*
 (基本価格の80% Off！) **70,000円**
 (税込 75,600円)

*情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4判またはA3判二つ折り（その他についてはご相談ください）
 用紙：色上質厚口（四六判80kg）またはコート紙（四六判90kg）相当

問合せ先

【広告代理店】アドコム・メディア(株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
 Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

デジタルプラクティス



デジタルプラクティス編集委員会

2014年4月、紙読(紙で読む)から電読(電子で読む)へ

これまでデジタルプラクティスは会員皆様に紙冊子でお届けして参りましたが、2014年4月発行号(第18号)より電子版に切り替わります。すべての論文は、バックナンバーも含め電子図書館より無料でダウンロードできますので、これまでと変わらぬご愛顧をどうぞよろしくお願い致します。この電子化により印刷経費を低く抑えられる一方で、読者や潜在的な著者に対するプレゼンス低下が懸念されます。そこで編集委員一同、論文誌としての価値がより高まるよう、さらなる特集企画の充実や広報等に努めて参りたいと思っております。

最新号,バックナンバーは
電子図書館 (<https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/>) から
無料ダウンロードで電読できます。

* 電子図書館は事前にユーザ登録(無料)が必要です。



デジタルプラクティスの目的は、ICTの現場において、試行錯誤や創意工夫の繰り返しの中から日々生み出されるプラクティスという知を社会全体で共有することです。読者の皆様が、デジタルプラクティス論文の中からご自身の仕事にも活かせる現場の知を見出してくださいれば幸いです。著者の皆様にとってデジタルプラクティスが自己研鑽やキャリアアップの機会につながれば幸いです。今後は、読者、著者の皆様に電子版ならではのサービスを提供して参りたいと思っております。

ご質問等は情報処理学会デジタルプラクティス担当 editdp@ipsj.or.jp までお寄せください。

ご意見をお寄せください！

【5月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号（2014年5月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：試行錯誤をエンタテインメントに 10-1- []
5代目 編集長就任にあたって：いよいよ「時代」がやってきた 10-2- []
特別解説：ビットコインの構造と制度的課題 10-3- []
特集：次世代ライブラリ
1. カーリル 10-4- []
2. リブライズ 10-5- []
3. 文化芸術デジタルアーカイブの活用とオープン化 10-6- []
4. 変わる大学図書館 10-7- []
5. クラウドソーシングを先取りした青空文庫の軌跡 10-8- []
6. MOOCと大学教育のイノベーション 10-9- []
定理証明支援系に基づく形式検証 10-10- []
学生会員レポート：中京大学工学部で新生活ははじめました！ 10-11- []
IT好き放題：外に出よう・外に出させよう 10-12- []
べた語義：Learning Analytics とは 10-13- []
べた語義：インターネットの副作用と情報教育 10-14- []
べた語義：農系ゲノム科学領域における情報科学・統計科学教育の取り組み 10-15- []
ビブリオ・トーク：Computer Architecture, 5th Edition A Quantitative Approach 10-16- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
〔11-1〕良かった記事 11-1- []
〔11-2〕この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
〔11-3〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-3- []
a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）
- (12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
〔12-1〕良くなかった記事 12-1- []
〔12-2〕この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
〔12-3〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 12-3- []
a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

[13] 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

[13-1] 次世代ライブラリ：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

[14] 設問 [10] で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見やご感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。
(スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください)

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、論文誌（デジタルプラクティス）、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／トランザクション／JIP）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、国際会議、IFIP 委員会
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

昨年電子書籍特集を終えてしばらく時間が経った2013年8月に始まった本特集の企画は、執筆者各位の尽力によってゲストエディタとしてはお礼の述べようのないくらい充実したものとなったと考えている。

今回の執筆陣は、ほとんどが旧知の仲であり、その分、しつこくりマインドをかけやすかった。その効果だろうか、締切厳守で進むことができ、なんともありがたいことであった。

このように万事が順調であったかのように見える本特集だが、唯一の心残りは、意中の執筆者の1人だけ、執筆が叶わなかったことである。その方は青空文庫の創設者の1人である富田倫生さんだ。本特集の企画書の第1版には、執筆者の候補として富田さんを挙げていた。しかし、かねてより療養中であった富田さんは、闘病の末、2013年8月に61歳で亡くなられた。

私自身、富田さんとは親交があったこともあり、決して

お体の調子がよくないことを知ってはいたのだが、これほど早い病状の悪化は予想しておらず、昨年の電子書籍特集の際に依頼しておくべきだったかと悔いを感じている。しかし、長年お世話になってきた富田さんは、さらに最後に大きな贈り物を用意してくれていた。それが今回青空文庫についてご寄稿いただいた大久保ゆうさんである。高校生の頃に青空文庫の活動にかかわり始め、その後は大学で研究の道に進んだ大久保さんには、これもまた大久保さんにしか書けないであろうご論考をお寄せいただいた。お名前は知りつつも、富田さんの死後に出会った大久保さんごのような形で一緒に仕事ができるのも、富田さんの引き合わせによるものだと思っている。

大勢の方々の尽力で成り立っている本特集だが、まずは誰よりも日本における次世代図書館のあり方を示された富田さんに捧げたい。

(岡本 真／本特集ゲストエディタ)



次号（6月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」マルチエージェントシミュレーション

エージェントベースシミュレーションの類型化と基本設計／社会シミュレーションと組織・社会の情報処理のアーキテクチャ・デザイン／マルチエージェントシミュレーションにおけるゲーミングの利用／マルチエージェント交渉モデルおよびシミュレーションとその次世代交通管理システムへの応用／ビッグデータとエージェントシミュレーション／避難シミュレーションの実社会への応用／日本におけるマルチエージェント・シミュレーション活用の動向／都市計画のための交通シミュレーション スマートな都市運営のためのデータ解析と What-if シミュレーション

教育コーナー：ぺた語義

連載：古機巡礼／二進伝心／ビブリオ・トーク

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT好き放題

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	190,000円 (税込205,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	165,000円 (税込178,200円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		
同封 (A判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」55巻5号 掲載広告（五十音順）

- イブックイニシアティブジャパン …… 同封 サイエンス社 …… 目次前
 インタフェース …… 表2 リードエグジビジョンジャパン …… 同封
 オーム社 …… 表2対向

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

Google™

グーグル (株)

GREE

グリー (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

NTT data

NTT データ (株)



NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽R天

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)